



本年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、人数でお勤め



その自分を見つめる場としてお寺が必要だとあらためて感じ、お寺(葉王寺)は私にとつて心の拠り所」と温かいメッセージをいただきました。

させて頂きました。関係の深いお寺様約10名の他、鈴木宗男(参議院議員)先生、道下大樹(衆議院議員)先生方々にもご参拝いただきました。鈴木宗男先生からは、「コロナ禍を乗り越えていく中で批判ばかりだけではなく、人と人が支え合い応援し合うことの大切さ」をお話しいただきました。また、道下大樹先生は、葉王寺の坐禅会に、札幌にいらっしやる時には、心の拠り所として参加参禅いただいております。「こんな不安定な時代だからこそ

来年は大勢の皆様と一緒にお法要をお勤めお祝い出来ることを楽しみにしております。法要後にはお寺で修行している仏心塾空手道場の生徒による型の演武が披露されました。「コロナ禍の影響により全ての大会が中止になり、選手の手持ちが下がらぬように」と御住職からも励ましと気合の言葉をいただきました。



葉王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

お盆期間中(8月)は、ご法事の繰り上げをお願いしております。四十九日法要はお勤めに上がりませんが、お時間やご納骨についてはご相談させていただければと思います。また繰り上げの場合、例年七月に集中致しますので、お早めにご相談ください。

8月に お勤め できない日	● 棚経期間 ● お墓参り期間 ● 法要の日	1日~12日 13日~16日 20日
---------------------	------------------------------	--------------------------

この日以外のご法事はお受けできませんが、あらかじめ日時をご相談の上、決定して下さい。新型コロナウイルスの影響で、**「ご相談ください」** 新型「コロナウイルス」の影響で、「ご法事をしたくても出来ない」という方は、どうぞお寺まで「ご相談ください」。

活動のご案内

子ども空手教室
心と体を鍛えましょう
毎週月・木・土曜日
午後5時より お寺
2年連続全道大会優勝。共に心と体を鍛え「自分力」を磨きましょう!初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。

坐禅会
体と心を調えましょう!
毎月1日・15日
午前7時より 参加無料
忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

ご詠歌
仲良く楽しく
唱えましょう
毎週金曜日
午後1時より 会費あり
ご詠歌を聞かれた事はありますか?亡き人への追憶の思いに涙があふれてきます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒にお唱えしましょう。

道しるべ

宮の森 大乘院

令和三年 お盆号

大乘院寺報 令和3年7月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail yakuou@triton.ocn.ne.jp
第84号

新盆万灯塔婆供養

8月15日(日)午後4時30分より
~本年初めてお盆を迎える御霊の御塔婆供養です~

お盆大塔婆供養

8月20日(金)午前11時より
~御先祖様への感謝報恩の御塔婆供養です~

御法話 8年前に白血病を患い克服された
大本山總持寺 前布教部長
滋賀県青龍寺 東堂 桂川道雄 老師

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行っております。お客様におかれましても感染防止策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。
・ご自身の健康状態を確認してご来場ください。エントランスに消毒液を設置いたします。手指の消毒をお願い申し上げます。
・ご来場の際はマスクを着用してください。
・咳エチケットを遂行していただきますようお願い申し上げます。

住職 田中清元

コロナ禍克服のための知恵と慈悲

一〇二〇年初頭に発生した新型コロナウイルスは、あつという間に世界各地に広がり、世界中の人々の暮らしに大きな影響を与えています。このウイルスは厄介なことに、私たち人間の本能を利用し広がります。困難を迎えた時、信頼する人とのふれあいを求めます。親戚や友人、隣人が病気になるれば助けに行きたいと思えます。

しかし、このウイルスはそうした私たちの行動を利用して伝染します。最愛の家族が重病になつても会うことを許されず、亡き人との別れも出来ず、大事な方の葬儀にも簡単に参列することが許されない状況に陥ります。高齢者や持病のある人たちも外出を阻まれ、自死者も増えています。感染者の増減に喜憂する中、誰もがかつての平常な生活を早くと願う一方、むしろ不安と苦痛や悲嘆がじわじわと深まる日々の流れです。

私は、曹洞宗特派布教師として全国各地を巡回し仏の教えを伝えてまいりました。しかし始どのお寺が法要を断念し、すべての法話や講演がキャンセルになりました。その間、人々の心の支えになるべき僧侶として「この事態に何をなすべきか」を幾度となく自問自答してまいりました。自然と融合する境内清掃に没頭する長い日々。坐禅を根底に据えた本来の禅僧の姿には程遠いですが、自己を見つめ直す時の流れでした。外へ外へと向けていた視点を内に向けることよって気が付いたことがあります。「マスクや

賢人の言葉

学ぶ心

松下幸之助さんの道をひらくより

自分ひとりで考え、自分の知恵や考えで生み出したと思っけていても、実は、すべてお師匠様や両親、人生の先輩、時には後輩達から教わったことだと気づく。教わらずして、学ばずして、私たちは、何ひとつ考えられることができないと。

応援して下さる檀家の皆様、お寺の修行、両親、先輩たち、仏心塾の後輩(同土)たち、仲間、どんな人からも、どんなことから、謙虚に素直に学びたいと思つていきます。お盆は、ご先祖様のみならず、生きとし生けるものすべての供養の場。大切なことは、ご先祖様へ真心をもっておもてなすこと。

コロナ禍の中ですが、乗り越えるためにも、学びの心と優しさを大切に、これからも精進していきたく思います。

編集者 院代 慎龍 合掌



消毒液を分け合い、隣の方の健康を気にし合う檀信徒や地域の人々の温かさ。私の宝物は、ここにこそあったという再認識です。「帰家穩坐」という禅語があります。旅に出ている人が家に帰り着くこと。人が本来備えている「仏の心」に立ち返り安らかに生きるという意味です。見えない敵に恐れを抱かず、他を見守り自己を見つめる時間が大切だと、気づかせてくれました。「これから僧侶が向かうべき道を学ぼうとする際の示唆になるのでしょうか」。仏教に関心のある方には、お寺で配っている禅の友や明珠を読んでいただきたい。過日、保健所から電話があり、あるお寺の本葬で二人の僧侶が感染されました。濃厚接触者として急遽PCR検査を受け大事もとりましたが、幸い、私も参列者も二次感染者ではなく、ひと安心をしました。この厳しい体験を大乘院にも十二分に生かし、現下のコロナ禍、アフターコロナの時代を乗り越えて行きます。コロナ禍をどう克服するのか。そのキーワードは、「知恵と慈悲」であると、改めて考えています。命の継承の中で人は必ず死を迎える。それを自覚して、自分の命とともに他人の命をも大切に生きていく。そんな互いの思いと出逢への感謝から正しく世を見つめる「知恵」が生まれ、互いに喜びや悲しみを共有して受け止める「慈悲」が育つ。この仏教の両輪が、私たち、授かった命を生かす原動力となるのです。 合掌

8月 お詣り予定 お盆供養

(月参りはお休みです)

1日～12日

午前7時から午後6時まで
お盆のお詣りに伺います

◇御先祖様をお迎えする為の、大切なお勤めです。地区の担当者が予定日を決めて、ご自宅にお伺いします。ご御協力お願い致します。

日時のご案内は発送済みです
届いていない方はご連絡下さい

【お盆まいりのお願いです】

- 住所変更や日時の御変更、お休みの時は、お手数ですが、お早目にお知らせ下さい。
- ハガキに午前・午後と、時間帯に○印が付いています。おおよその目安で前後することもございます。恐れ入りますが、お時間には余裕を持ってお待ち下さい。
- この期間中は、お寺に僧侶が不在がちです。ので御了承下さい。
- お伺いの際に水向供養塔婆(水塔婆)をお持ち致します。口の広めのコップに、水を半分ほど入れ御用意下さい。水塔婆は十六日まで、毎朝水を取り替えること丁寧ですね。



※十六日が終わりましたら水から出し、乾燥させて、二十日の法要に御持参頂くか、半紙等にくるみ、来年のお盆か、次の御命日の時に、お渡し下さい。

東原俊郎 檀家総代長からのご挨拶



お盆をひかえ、皆様におかれましては、この災禍の中、ご苦労されておられることと案じております。一昨年より計らずも総代長を勤めさせていただき、皆様とともに薬王寺がより良い心の拠り所となるようお手伝いをさせていただいております。ご承知の通り、コロナウイルスの影響は予想をはるかに超え、不安な毎日をお過ごしのことと思っております。今まで当たり前だったことが、そうでなくなる日々。私は、これを危機ととらえるのではなく、チャンスととらえて日々事業に取り組んでいます。その中で、今を生きることの大切さも感じています。昨年七月十七日に母が満百歳の人生を全うし遙かな旅路にきました。生前に宮の森薬王寺にお詣りして大変よろこんでいた姿を思い出します。母から生き方を学び、誠実に歩んだ人生は、「生き抜く」そのものでした。ご住職やお寺の皆様のおかげで、七月十七日に、一周忌の法要を滞りなく済ませる事ができました。こと心よりお礼申し上げます。このような状況ではあります。微力ながらお寺の発展のため尽力させていただきます。皆様からのご支援ご協力をお願い申し上げます。檀信徒の皆様のご健康とご多幸、心から御祈願申し上げます。

13日～16日

お墓参りの期間です
※お寺の開門は
午前7時から午後7時まで

◇お墓に御先祖様のお参りに行きます。お寺では朝七時より夜七時まで開門してまします。お経のお申し込みは受付順です。お供物は、皆様でお召し上がり頂く事も御供養です。出来るだけお持ち帰り下さい。

《駐車場ののご案内》
新本堂の駐車場も使用できます。また境内での事故や盗難に関しては責任を負いかねますので充分ご注意ください。

15日 新盆供養
午後4時30分より

今年新盆の方は、令和二年六月二十六日～令和三年六月二十五日迄の仏様です。

◇今年初めてお盆を迎えられる精霊様だけの御供養です。想いを込めて灯火を供え、お塔婆を建立して供養の誠を捧げましょう。午後三時半頃までお越し下さい。(法要中は本堂納骨堂でのお参りを御遠慮して頂く事があります。)

御先祖供養、回忌供養の方は二十日の法要へお越し下さい

16日 お供物のお下げ 午後より

◇境内のお墓や納骨堂のお供えを下げる日です。御檀家さんや婦人会の皆さんにお手伝い頂き、お掃除をします。ご協力頂ける方は、お昼頃までお越し下さい。

当日お参りの方は、御供物のお持ち帰りを協力下さい

20日 お盆大法要 午前11時より

◇お盆総供養の大塔婆供養を致します。本年回忌を迎える方にはご案内を同封させて頂いております。お塔婆供養は回忌にあたる方だけではなく御先祖様への供養もしております。

当日ご参詣にならない場合は、お寺が代わってご供養致します。当日のお申込みも可能ですが、なるべく午前中までにお申込みをお願い致します。◇当日はお焚き上げ供養も行ないます。古い御守りや水塔婆などお持ち下さい。ただし生ものや不燃物は受付出来ません。

20日 からの お参りは

◇お寺は二十日以降、お盆の片付けに入りますが、祥月命日(本命日)や中陰(四十九日中のお詣り)、ご法事のお勤めにありますので、お時間の予定など遠慮なく御相談下さい。

《護持会費について》年間一万円

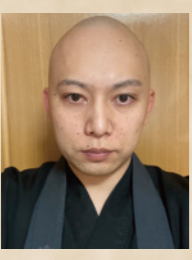
檀信徒皆様が気持ち良く御参り頂けるように、お寺や境内地を管理・整備させて頂く為の大切な会費です。境内の「お墓や納骨堂の有無に関わらず」月命日、本命日やお盆、ご法事等に伺っている場合には、必ずお納め頂く会費です、どうかご理解ご協力の程、宜しくお申し込み申し上げます。

パライスタドナメント(ソウル) Baptista do Nascimento, Bruno. 泰光正栄さん



1986年11月27日 35歳。山總持寺特別僧堂修行中。ブラジルのリオデジャネイロ出身。国立ヴィライ・ローボス(Villa Lobos)芸術哲学大学院で研鑽。卒業後、東洋哲学の教授として活動し、2006年に禅仏教に入門し、2011年に曹洞宗僧侶として得度。大本山總持寺で修行。2019年より当本山で特別僧として安居修行中。

福島和哉さん



1985年7月21日 36歳。大分県出身。竜華寺 副住職。駒澤大学にて修学。

【お塔婆ご志納のお申込み】

お詣りに伺った際には、新盆(十五日)、お盆法要(二十日)の「お塔婆供養」と「ご志納」のお申込をお受け致します。同封の「申込書」に必要事項をご記入頂き、供養料と一緒にお渡し下さい。併せて護持会費のご納金もお受け致します。

回忌案内が届きの場合、申込み書に添えてお渡し下さい。

御郵送 での御申込みもできます

お盆のお詣りに伺わない方は同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、茶色の返信用封筒(切手不要)にて御返送下さい。ご供養料は同封の郵便局の振込用紙にてご納金下さい。※年忌に当たらない仏様のご供養もできます。



年忌にあたらぬ仏様のご供養もできます。

ご塔婆はお地藏様を囲み一年間建立しご供養致します

- 大塔婆供養・一万円 (戒名法名が家名)
- 中塔婆供養・五千元 (家名のみ)
- 万燈供養・五千元 (提灯供養、家名のみ)

大塔婆供養 だいとうば

今年法事を迎えられる方、御年忌に当たらずとも御先祖様への御供養のために感謝報恩のお勤めをおすすめ致します。御供養されたお塔婆は境内地に来年夏まで建立安置させて頂きます。

また、やむなくコロナ禍の中、ご法事や棚経、お墓参りを見合わせた方には特別にお塔婆の建立をお勧めいたします。

※当日お越しにならない方は、お寺で代わりにお勤め致しますので、ご安心ください。

お塔婆の意味と目的

お塔婆とは、もともと仏塔という意味の「ストウパ」が語源とされ、お釈迦様のご遺骨を納められた五輪塔がその由来です。五輪塔の5つの形の意味は、上から宝珠型「空」、半円「風」、三角「火」、円「水」、四角「地」となり、宇宙を構成する5つの要素を表し、仏教では人間もこの5つの要素によって生かされていると教えられています。塔婆を建立することは最も善行とされており、それは故人やご先祖様の善行ともなり、追善供養を行うということになります。

井崎 信海

いつもお世話になっております。お寺には古くからお勤めさせて頂いておりますが、今年初めてお盆のお詣りさせて頂いております。不手際があるかも知れませんが、宜しくお願致します。

森川 敬道

御誕生寺専門僧堂で3年間修行。兵庫県出身。この度、有難い御縁を頂いて修行させて頂いております。初めての事で緊張しております。何かとご迷惑をおかけ致します。何卒宜しくお願い致します。

副住職 田中 基裕

住職 田中 清元

院代 橋坂 慎龍

鶴間 隆道

院代 橋坂 慎龍

小林圭太さん

松雲寺 瑞応寺にて3年半修行後知殿という配役の役寮。慎龍土師の修行時代の後輩にあたる。そのご縁あってこの度はお盆のお手伝いをお願いする事になりました。